（記入例）

東京出入国在留管理局 御中

2024年xx月xx日

**ドイツ学術交流会(DAAD)奨学生の研修受け入れについて**

貴社・貴機関名は、ドイツ学術交流会（DAAD）奨学金プログラム「SP Japan（日本語学習と企業内研修）」奨学生xxxx xxxx氏（xxxx年xx月xx日生まれ）を2024年7月1日から2024年12月31日まで研修生として、下記の通り、受け入れます。

**受入期間**：2024年7月1日から2024年12月31日

**受入場所**：（貴社・貴機関名、および当該奨学生の研修が主として実施される場所の住所）

**研修時間**：XX時からXX時まで、週XX時間

**研修期間中における活動内容**：（出来得る限り詳細なご記述をお願い致します。）

在留資格「文化活動」の規定は「外国人の方が、収入を伴わない学術上若しくは芸術上の活動を行おうとする場合」として定められています。そのようなことから、こちらの「活動内容」の記述内容としては、現時点で想定される、当該奨学生の研修期間での具体的な活動内容（業務内容）に加えて、

**・その研修内容と、当該奨学生のこれまでの専攻内容とのつながり**

**・貴社・貴機関における研修内容が、当該奨学生にとって、その専攻内容をどのようにより深化させていくことが期待されうるか**

といった点まで含めてご記載頂けましたら、出入国在留管理局の審査ご担当官に、さらに分かりやすいご記述になるものと存じます。

**処遇（援助等）**：

（原則的には、処遇はないものとして頂いて結構です。金銭的な援助がある場合には「ひと月あたり40,000円（家賃等の補助として）」あるいは、「研修場所までの通勤定期代を、ひと月あたり20,000円を上限として支弁する」などと金額を明記して頂いた上で、ご記載下さい。）

**担当者**：

（出入国在留管理局よりお問い合わせがあった場合にご返答頂けるご担当者様の、お名前・部署・お役職名のご記載をお願い致します。）

なお、受け入れ機関の概要については、別添資料をご参照下さい。

受入先機関名：

（※代表印等の捺印は必須でないとのことです）

法人番号：

住所：

電話：